



放射能測定

『私たちは、再生可能エネルギー（クリーンエネルギー）の開発・普及を推進します！』

○建物内外環境の空間放射線量の測定を実施しています。

(50,000円(3時間以内)+延長料金+時間外手当+日当+放射線被曝手当
+交通費+諸経費10%+消費税等)

○日用品や工業製品の放射能測定を実施しています。

持込み検査 1検体 税込10,500円から

○食品の放射能測定を実施しています。

○出張測定・持込み検査を実施しています。

○放射線量測定 1検体 税込10,500円から

○放射性核種分析 1検体 税込31,500円から

○値引きあり！ご予約、検体数をお知らせください。

○放射測定器貸出しします。ドイツ製 GAMMA/SCOUT ガイガーミュラー計数管式
(GM式) α 線、 β 線、 γ 線測定可能 税込5,250円から(送料別)



ご存知ですか？厚生労働省医薬食品安全部より、『放射能汚染された食品の取扱いについて』食安発0317第3号が平成23年3月17日付で公表されました。

『飲食物摂取制限に関する指標』【暫定基準】以下をご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001558e-img/2r9852000001559v.pdf>

『放射能測定は緊急時における食品の放射能測定マニュアル』に準拠
以下をご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001558e-img/2r98520000015cfn.pdf>

工業製品等は、ジョイント・インダストリー・ガイドライン (JIG). Joint Industry Guide 等に準拠測定します。ただし、国際基準がありませんので報告先の国や企業にご確認ください。

食品の放射能測定方法

1. NaI (TI) シンチレーションサーベイメータによる放射能測定 簡易測定

必要試料量： 牛乳など液体試料 1L 、野菜など固体試料 1kg

2. ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析

必要試料量： 牛乳など液体試料 1L 、野菜など固体試料 1kg

- ◆ 緊急時における食品中の放射性セシウム測定に用いる NaI (TI) シンチレーションサーベイメータの機器校正 (平成 23 年 5 月 26 日社団法人日本アイソトープ協会)

<http://www.jrias.or.jp/index.cfm/6,15496,110,html>

- ◆ 緊急時における食品中の放射性ヨウ素測定に用いる NaI (TI) シンチレーションサーベイメータの機器校正 (平成 23 年 4 月 20 日社団法人日本アイソトープ協会)

<http://www.jrias.or.jp/index.cfm/6,15084,110,html>

その他資料

- ◆ 『[原発事故-その時あなたはどうか！？](#)』が無料公開されました。

JSA 福岡の核問題研究会のご厚意で 20 年前に原発事故が起きた時に、個々の住民がどのような行動を取れば良いのかについて絶版になっていました表題の本を合同出版の承諾を得て、pdf ファイルとして公開しています。原発事故時の緊急対策マニュアルとしてご活用いただきたいとの事です。

<http://blog.livedoor.jp/wisteriabook/archives/3066913.html>

- ◆ 中原, 岡本, 森著「チェルノブイリ原発事故の警告-日本の原発だけが安全か」
日本の科学者 21 巻 12 号 38-45 ページ

http://web.me.com/emiyoshi3/JSA_Fukuoka/Nuclear/entries/2011/3/26_chernobyl_files/chernobyl1986_1.pdf

